

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市環境審議会				
事務局 (担当課)		環境政策課 電話042-769-8240(直通)				
開催日時		令和2年2月6日(木) 午後3時00分から4時30分				
開催場所		相模原市民会館 3階 第1中会議室				
出席者	委員	14人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	6人(環境政策課長他5人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1. 開会 2. 議題 (1) 第3次相模原市環境基本計画(案)について 3. その他 4. 閉会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員、 は事務局の発言)

### 1. 開会

### 2. 議題

#### 第3次相模原市環境基本計画(案)について

資料1から資料5について、事務局から説明を行った。

資料3のP19及びP20について、パブリックコメントの意見を踏まえ、一部文言を「施策」から「取組」に修正することだが、その他の箇所についても、「施策」と記載してある箇所があるため、再度、文言等を整理したほうが良いのではないか。あわせて、「現状の課題」及び「施策の方向性」について、本文に記載がある内容と表に記載のある取組の整合を図ったほうが良いのではないか。施策の方向性に記載のある内容と重点化すべき施策が整理されたほうがよい。

ご指摘のとおり、記載してある内容との整合が図られていない箇所については、見直し及び修正を行う。

資料2のP2の中山間地域の現状と課題について、2段落目の文章について、一文が長く、わかりづらいため、整理したほうが良い。また、中山間地域の現状と課題について、ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ等の鳥獣被害は地球温暖化が原因のひとつだと言われており、そのようなキーワードがあっても良いのではないか。

ご指摘を踏まえ、見直し及び修正を行う。

資料2のP6の「気候変動に強いまちづくり」について、「近年、空気中の温室効果ガス濃度が増加することで地球温暖化を引き起こし」と記載があるが、地球温暖化は以前から起きており、近年という表現は見直したほうが良い。また、「これまでは気候変動に強いまちづくりを目指し」とあるが、これまでも「気候変動に強いまちづくり」に取り組んできたのか。前文とよく整合を図ったほうが良い。

ご指摘のとおり、近年という表現は修正を行う。また、「これまでは気候変動に強いまちづくりを目指し」という表現については、前文と整合を図りながら、見直し及び修正を行う。

資料3のP46について、本文に「前計画」とあるが、環境基本計画を指しているのか。環境基本計画を指しているのであれば、表現を見直したほうが良い。

環境基本計画を指した表現である。ご指摘を踏まえ、見直し及び修正を行う。

○資料3のP46の現状と課題に鳥獣被害について記載があるため、鳥獣被害の対策について、P47の施策体系などに追加しても良いのではないかと。また、鳥獣被害については、地球温暖化により、行動範囲や生態系が変化することなどが要因でないかと考えられている。そのような記載を追加するのか検討いただきたい。

施策体系については、「水とみどりの基本計画・生物多様性戦略」と整合を図っている。地球温暖化と鳥獣被害の関係について、記載するかどうかについては、ご意見を踏まえ、検討させていただく。

生物多様性の保全と鳥獣被害対策については、市としてしっかりとした方針を示して取り組んでいただきたい。

○資料3のP32の主な取組の「自然的特性を生かしたエネルギー利活用策の促進」について、木質バイオマスエネルギーの導入促進など具体的に記載したほうが良いのではないかと。また、「ソーラーシェアリング」について、「耕作する農地の上に太陽光パネルを設置するソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）」などの説明が必要なのではないかと。

主な取組については、「地球温暖化対策計画」と整合を図っている。具体的なものとしては、地中熱など未利用エネルギーの利活用の促進や森林資源や小水力などを活用した自然エネルギーの地産地消などであるが、それを包括した表現として整理させていただいている。「ソーラーシェアリング」については、ご指摘のとおり、本文に説明を追加する。

「地球温暖化対策」がこの環境基本計画の大きな柱になっている。さがみはら地球温暖化対策協議会は事業者、団体、市等が協力しながら、市民への地球温暖化対策の啓発や子どもたちへの環境教育、そのための人づくり、仕組みづくりに取り組んでいる。P64の[主な取組]の3行目など、必要な個所に「さがみはら地球温暖化対策協議会」を追加していただきたい。

さがみはら地球温暖化対策協議会については、資料3のP64の「さがみはらの環境をよくする会などの環境保全活動団体への支援」などに含まれている。具体的な取組については、年次報告で公表してまいりたいと考えている。さがみはら地球温暖化対策協議会については、個別計画である「地球温暖化対策計画」において具体的な記載があるため、環境基本計画に記載するかどうかは検討させていただく。

資料3のP57の「水環境の保全」について、下から3行目に「合流式公共下水道」とあるが、誤りではないかと。「分流式公共下水道」が正しいのではないかと。

ご指摘を踏まえ、修正を行う。

今回、新たに施策の一部を「環境教育等行動計画」として位置付けるということ  
を、目次やP3の「計画の位置付けと関連計画との関係」などに追加してはどうか。

ご意見を踏まえ、検討させていただく。

資料4について、市内には（仮称）相模原市市民の森など、子供たちが自然と触  
れ合うことのできる交流の場もあるため、そういった要素を追加してはどうか。

子供たちが自然と触れ合う絵については、中山間地域の上段に記載があるが、  
もう少しわかりやすいよう修正を行う。

資料4について、中山間地域にソーラーシェアリングの絵を追加してはどうか。  
また、リニア中央新幹線が市内の中央にあることに違和感がある。

ご意見を踏まえ、検討させていただく。

「地域循環共生都市」という言葉は、次期総合計画に記載はあるのか。市内での  
循環を表現している絵について、都市部から中山間地域における「資金・人材など  
の提供」について、具体的にはどういったことか。もう少しわかりやすい表現が良  
いのではないか。同様のことが、中山間地域から都市部における表現にも言えるの  
で、検討いただきたい。

「地域循環共生都市」という言葉は、次期総合計画には記載はないが、環境省  
の環境基本計画で新たに提唱された「地域循環共生圏」という考え方を踏まえ、  
環境基本計画に位置付けたものである。「資金・人材などの提供」などの表現に  
ついては、国の計画を参考にしたものであるが、相模原市にそぐわない表現もあ  
るため、ご指摘を踏まえ、見直し及び修正を行う。

森林環境譲与税など、都市部から中山間地域への資金の援助は現実的に必要なこ  
とであり、何か資金に代わる言葉で表現できれば良いのではないか。また、材木に  
ついて記載があるが、材木を作るには、間伐（水源地域の森林整備）が必要であり  
そういった絵を追加してはどうか。

ご指摘を踏まえ、資金という言葉は別の表現に修正を行う。なお、間伐（水  
源地域の森林整備）を表した絵については、検討させていただく。

資料4について、中山間地域だけ、循環を示す矢印が左回りになっているが何か  
理由はあるのか。

それぞれの地域がその特性を生かしながら、循環し、また、それぞれ補完し合

い、都市部と中山間地域がひとつでつながって「地域循環共生都市さがみはら」であるということを表示するために都市部の矢印と中山間地域の矢印が結びとなるように表現したものである。

資料4について、中山間地域から都市部へ提供に関する絵について、農畜産物は、中山間地域だけでなく、都市部（南区麻溝地域など）においても生産されており、整理が必要である。南区にその要素を追加してはどうか。

ご指摘を踏まえ、見直し及び修正を行う。

資料4について、環境像として、リニア中央新幹線の絵は必要か。自然環境や生活環境への影響を考えるとなくても良いのではないか。また、都市機能の要素の一つとして表すならば、そのほか電車・バスなど公共交通機関はなくて良いのか。

新たな考えである「地域循環共生圏」について、イメージしていただく絵であり、その考え方を広く浸透させていきたいと考えている。広く浸透させるためにも、市の大きな特徴の一つであるリニア中央新幹線の絵を入れている。リニア中央新幹線については、ご指摘を踏まえ、一部修正させていただく。そのほかの公共交通機関については、追加しない予定である。

資料5について、市の取組とは何か。「さがみはら環境シンポジウム」について、記載があるが、具体的にはどのようなことを行ったのか。

昨年、6月に環境啓発イベントである「さがみはら環境まつり」のイベントの一つとして、開催したものであり、基調講演のほか、地域で活動する市民、事業者の方や有識者の方によるパネルディスカッションを実施し、本市の望ましい環境像や、それを実現するための施策について意見交換などを行ったものである。意見聴取の機会として行ったのであれば、そこで出された主な意見など整理されていると良い。

項目として、どのような目的で記載しているのか整理すると良い。

資料5について、用語集の環境影響評価の説明について、法や条例に該当しない事業において自主的に環境影響評価を行う自主アセスの説明がわかりづらいため、見直したほうが良いのではないか。また、ISO14001の用語説明の出典について、改めて見直したほうが良い。

ご指摘を踏まえ、修正を行う。

用語集にSDGsの説明を追加してはどうか。

SDGsの説明については、資料3のP10の「第2章の相模原市を取り巻く

社会情勢の変化」に記載をしている。

以 上

相模原市環境審議会委員名簿（敬称略） 第4回(令和2年2月6日開催)

	委員名	所属・役職	備考	出欠席
学 識 経 験 者	一色 正男	神奈川工科大学 創造工学部 教授		欠席
	遠藤 治	麻布大学 生命・環境科学部 教授		出席
	大河内 由美子	麻布大学 生命・環境科学部 准教授 (相模原市廃棄物減量等推進審議会委員)		欠席
	岡部 とし子	相模女子大学 栄養科学部 教授		欠席
	亀山 章	東京農工大学 名誉教授	会長	出席
	田中 充	法政大学 社会学部 教授 (相模原市地球温暖化対策推進会議会長)		出席
	南部 和香	青山学院大学 社会情報学部 准教授		出席
	松本 安生	神奈川大学 人間科学部 教授	副会長	出席
	吉永 龍起	北里大学 海洋生命科学部 准教授 (相模原市水とみどりの審議会委員)		欠席
市内の 公共的 団体等の 代表者	岡崎 広志	相模原市立小中学校校長会 委員		出席
	北村 陽子	(特非)さがみはら環境活動ネットワーク会議		出席
	佐藤 治男	津久井郡森林組合 代表理事組合長		出席
	竹田 幹夫	相模原市自治会連合会 副会長		出席
	根本 敏子	相模原商工会議所 常議員		欠席
	古屋 伸夫	(特非)かながわ環境カウンセラー協議会 相模原支部長		出席
	山口 誠志	相模原の環境をよくする会 会長		出席
関係行政機関の 職員	鈴木 一成	環境省関東地方環境事務所 環境対策課長		欠席
公 募	大久保 和美	中央区在住		出席
	梶山 純	中央区在住		出席
	斎藤 奈美	中央区在住		出席